

2005年

4

月号

Stage Up

生涯学習情報誌
ステージ・アップ
通巻 No. 139



「美しきスタート」：佐藤 尚 画

もくじ

8 7 6 4 2

新しい統合財団のお知らせ
生涯学習ア・ラ・カルト
ぐるーぷBOX / いま地域で学校で
まち・ひと・多面体 / くらし百景 俳壇
イベントパーク

発行・(財)川崎市生涯学習財団
〈ホームページ〉 <http://www.kpal.or.jp>

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1
TEL 044 (733) 5560(代) / FAX 044 (739) 0085
ステージ・アップ直通 TEL 044 (733) 5811 E-メール: stage-up@kpal.or.jp

財団統合のお知らせ

「財団法人 川崎市生涯学習振興事業団」と「財団法人 川崎市博物館振興財団」が統合され、4月から「財団法人川崎市生涯学習財団」となりました。

統合の経緯

川崎市教育委員会所管の「財団法人 川崎市博物館振興財団」（以下 博物館財団という。）と「財団法人 川崎市生涯学習振興事業団」（以下 生涯学習振興事業団という）は、社会の都市化、少子高齢化、高度情報化等の急激な変化、また市民のライフスタイルの変化、余暇時間の拡大等による生涯学習、文化、芸術に対する市民ニーズの多様化、高度化に応えるべく設立されました。

「博物館財団」は、川崎市市民ミュージアムの柔軟な運営を図るために昭和63年のオープンに合わせて発足し、その後、大山街道ふるさと館、日本民家園、青少年科学館、岡本太郎美術館の博物館施設の管理運営を受託し、今日に至っています。

「生涯学習振興事業団」は、多様化する市民ニーズや高度な学習ニーズに応える市民大学構想の実現を図ることを目的に発足し、市民アカデミー等の学習事業、情報の収集・提供、施設提供事業などを実施するとともに、スポーツ施設や青少年施設の管理運営を受託してきました。

しかしながら、川崎市の財政状況の悪化に伴い市の全ての事業を見直す「川崎市行財政改革プラン」の中で出資法人もその対象となり、教育委員会が所管している上記2つの出資法人については、より効率的な運営を追求していくために見直しを行って、平成17年4月までに統合をしていく方向が示されました。そのため、平成14年12月に教育委員会内に「財団統合推進委員会」を設置し、統合に向けての調査・研究を行い、平成17年4月1日に新財団が設置されることになりました。

その後、教育委員会および博物館財団、生涯学習振興事業団の三者と神奈川県教育委員会との間で協議を進め、平成17年2月4日に県教育委員会から寄付行為等の変更について認可をする通知をいただきました。

新財団の実施する事業

- ・ **施設提供事業**
 - 川崎市生涯学習プラザ
会議室、和室、多目的ルームなど
 - 新百合トウェンティワンビル
会議室、多目的ホールなど
- ・ **かわさき市民アカデミー**
 - 川崎学、みどり学、高齢者福祉などの講座を開設
 - 市民自主企画によるワークショップの開設
- ・ **青少年地域間交流事業**
 - ふれあいサマーキャンプの開催
- ・ **スポーツ・文化事業**
 - パソコン教室
基礎から応用まで学べる講座を随時開設
 - 陶芸教室
手びねりコース、ロクロコースを開設
 - スポーツ教室
気功太極拳・エアロビクス・ヨガ教室開設
- ・ **学習情報事業**
 - 情報誌の発行
 - 生涯学習情報コーナーでの学習相談
- ・ **受託施設事業の運営管理**
 - 市民ミュージアム、日本民家園、青少年科学館、岡本太郎美術館

今後の展望

財団統合にあたっては「かわさき教育プラン」の策定及び「川崎市新総合計画」の策定とも連動し進めてまいりました。今後の生涯学習や文化、芸術、スポーツのありかたについては、「市民参画」を十分配慮しながら、現在までに培われた市民主体の学習機能と学習の地域還元システムを継承するとともに、美術館・博物館の収蔵品や建造物また学術的、専門性に優れた人的資源や学習素材を備えた学習の場も併せて継承してまいります。そして、これらの継承する財産を最大限に市民に還元するため、博物館施設と学習機能を緊密に連携させながら運営に努めてまいります。

今後とも新財団をよろしくお願い申し上げます。

かわさき市民アカデミーの改革について

川崎市生涯学習振興事業団は、川崎市の厳しい財政状況なども視野に入れ、新たな時代にふさわしいアカデミーへの改革を検討するため、平成16年4月に「かわさき市民アカデミー改革協議会」を設置しました。「改革協議会」は平成17年3月まで10回にわたり、協議を重ね、その検討結果をまとめました。

改革の基本精神と方向

「改革協議会」では、改革の基本目標を、活力ある市民社会構築の基盤となる市民の「自己実現、社会参加、社会還元」とし、具体的な方針としては、次の四つの柱を中心に置きました。

- (1) 川崎市の自治体事業としての独自性を持った展開を目指す学習内容とする。
- (2) 川崎の都市像から導かれた諸課題に応える講座を開設する。
- (3) 学習の中で市民参画の道筋を学ぶ。
- (4) 地域人材の多様な能力を活かす。

そして、①活力ある市民社会の創造に向けた講座・演習の再編成、②会員制度の充実、③コスト削減と受益者負担の適正化、④企画・運営への市民参画の推進について検討を進めました。

改革の内容

1. 活力ある市民社会の創造に向けての講座・演習の再編成

- ① 現行の専攻コース（研究系・表現系・生活系）を発展的に解消し、新たに「活力ある市民社会の創造」に貢献する自治体事業としての独自性を持った展開をめざす学習内容に再編成する。
- ② 学習内容は、川崎市の諸課題に応える講座を開設し、市民参画の道筋を学ぶことができるように編成する。
- ③ 講座数は、1期25講座、年間50講座とする。
- ④ 演習は、市民自主企画・運営に移行し、ワークショップと改称する。ワークショップの開設数は1期15、年間30を基本とし、市民委員会（仮称）を設けて企画・運営を行う。
- ⑤ 市民の利便性に配慮し、生涯学習プラザ・新百合21ビル以外の各区域での開催を促進する。
- ⑥ ミュージアムなど市内のあらゆる施設を活用し、地域に根ざした講座を開設する。
- ⑦ 学生や就業者などの市民が利用できるよう土日、夜間の講座を拡充する。
- ⑧ 市内の大学や民間カルチャーセンターと連携した講座についても検討する。

2. 会員制度の充実

- ① アカデミーの受講生は、会員および聴講生とし、生涯会員制度は廃止する。
- ② 会員はコースに所属し、所属コースの講座を受講する。ボランティアなど社会還元に必要な講座も受講する。
- ③ 会員は会員期間内（2年）に継続的で発展的にコースの学習を積むことが保障される。
- ④ 会員はワークショップを受講することができる。
- ⑤ 会員はワークショップや自主講座の企画に参加することができる。
- ⑥ 会員は入会金を納入し、聴講生の聴講料とは別の受講料で受講できる。

3. コスト削減と受益者負担の適正化

- ① 事業運営に係る直接経費は、受益者負担として受講料で賄うことを目標に受講料の改定を行なう。
- ② 学習ニーズに応える講座編成、利便性に留意した会場設営、広報の強化等により、受講者の開発・増加策を講じて受講料増収を図る。
- ③ 企画運営への市民参加や内部効率化の推進によって効率的な運営体制を構築し人件費の削減を図る。
- ④ 施設の効率的、効果的運用を推進する。
- ⑤ ワークショップの自主運営化は、参加人数の制約があり、コスト上の課題があるが、社会還元の源泉となっていることを考慮し、条件整備を進める。

4. 企画・運営への市民参画の推進

- ① 事業団は、自主企画講座・ワークショップ開設要領を作成し、市民の自主的な企画・運営を支援する。
- ② 自主企画講座・ワークショップの企画運営を推進するため市民委員会（仮称）を設立する。
- ③ 市民の自主性や企画を生かすため、アカデミー運営委員会に市民委員会の代表を加える。
- ④ 川崎市内在住の様々な分野の専門家、受講者などを登録し、講師や企画の体制を拡充する。

アカデミーの今後に向けて

アカデミーの活動は、今後さらに①総合的課題に取り組むこと。②学習社会の創造に貢献すること。③市民主体のアカデミーへ発展すること。④より豊かな人生開拓への役割を担うことが期待されています。

●アカデミー●

宇宙を身近に体験

かわさき市民アカデミー野外研修会報告

2月16日、かわさき市民アカデミーの会員組織「友の会」主催の野外研修会が行われ、119人が参加しました。一行は「筑波宇宙センター」と「アサヒビール茨城工場」を見学しました。ここで参加者の感想を紹介します。

宇宙遊泳…酔泳！も楽しい研修旅行

03環境コース 鈴木壮一

2005年2月16日の未明、つくば市南部は震度5弱の地震に見舞われていた。友の会野外研修会は毎年期末に行なわれ、この日は後期の研修会の日にあたっていた。普段の顔をして、受講生119人は朝8時過ぎ川崎駅西口から3台のバスに分乗し、雨の中一路東京湾岸道路経由、常磐自動車道に向かった。



筑波宇宙センターは16万坪の敷地に人工衛星やロケット、国際宇宙ステーションの日本が担当する実験モジュール「きぼう」の研究開発や宇宙飛行士の養成まで行え、その内容を事細かに見ることができる。失敗の印象が強かったロケット打ち上げであるが、H2Aロケット7号機の前に5回は成功している。新聞によると24日が打ち上げ日である。成功を祈らずにはいられない。打ち上げ経験のない日本には難しいことだらけのように思えてくる。アメリカやロシアはすでに300回余の打ち上げ経験をもち成功率は90%以上。日本はまだ13回で77%である。今回の気象衛星「ひまわり」の後継機を載せたH2Aは低コスト化しても打ち上げ費は120億円かかるという。

宇宙服にも種類があり展示してある白い宇宙服は、船外活動(EVA)のEMUと呼ばれる宇宙遊泳用のものである。NASAと書かれおなじみだが、13億円もする。高真空、無重力、宇宙放射線などから人間を守るように設計され、バックパックという装置には水や酸素を備えている。何と内圧は0.3気圧でエベレストに登ったときと同じくらいで宇宙飛行士にもかなりの体力が必要だ。訓練中の古川、山崎(女性)、星出さんの各宇宙飛行士も大変である。

午後からはビール党には期待も大きい「アサヒビール茨城工場」の見学である。12万坪の敷地に年間生産量7億本(大びん換算)の工程が並んでいる。ここは撮影禁止で原料・仕込み室→発酵工程→熟成工程→びん・缶詰工程まで一連の工程を目の当たりにすることができる。

生涯学習ア

大事な水は実は水道水を更にもろ過して使用しているが水は生産量の7倍必要だという。原料の麦は二条大麦を使い、例のホップは独特な香りのもとになる。ビールに使うのは雌株につく雌花の集まりである毬果(きゅうか：花のかたまり)で苦味の成分はイソフムロンである。

実演でやっていたビールの注ぎ方。まずグラスに1/3の量の泡がでるまで上から注ぐ。次にグラスを斜めにして静かにビールを注ぎ、最後に泡の量を調整する。そうすると空気の酸化をとめて味の落ちないおいしいビールが飲めるという。ビールをつい飲みすぎると、人によっては宇宙遊泳ならぬ酔泳になり、バスの臨時停車が必要となる。これもまた楽しからずや。雨はようやくやんだ。

●まなぶ●

パソコンセミナー 受講者募集

パソコンの基礎から応用まで幅広く講座を開催しています。申込締切日を過ぎても空いている場合もありますので詳しくはお問い合わせください。

講座名	難易度	講座No.	開催日	受講料	申込締切
WORD初級	★★	4-A	4/11(月)	6,500円	3/22(火)
デジカメ画像編集講座	★★	4-B	4/12(火)	5,000円	3/22(火)
EXCEL初級	★★	4-C	4/14(木)	6,500円	3/24(木)
ゆっくりじっくりパソコンセミナー	☆	4-D	4/15(金)・4/22(金)・4/28(木)・5/13(金)・5/20(金)[全5日間]	25,000円	3/25(金)
パソコン入門	☆	4-E	4/18(月)・19(火)	13,000円	3/28(月)
パソコンステップアップ	★	4-F	4/26(火)・27(水)	13,000円	4/5(火)
EXCEL初級	★★	5-A	5/9(月)	6,500円	4/18(月)
WORD初級	★★	5-B	5/12(木)	6,500円	4/21(木)
パソコン入門	☆	5-C	5/18(水)・19(木)	13,000円	4/27(水)
デジカメ画像編集講座	★★	5-D	5/24(火)	5,000円	5/2(月)
住所録作成・宛名差込印刷講座	★★★	5-E	5/25(水)	5,000円	5/6(金)
パソコンステップアップ	★	5-F	5/26(木)・27(金)	13,000円	5/6(金)
EXCEL初級	★★	5-G	5/31(火)	6,500円	5/10(火)

※6月にWORD中級、EXCEL中級、パワーポイント等の講座を予定しています。

- ◆会場…川崎市生涯学習プラザ内 3階研修室
- ◆受講時間…9:30~16:30(昼休憩1時間あり)
- ◆対象…18歳以上。4-B、4-D、5-Dは概ね50歳以上。
- ◆申し込み…はがき・Fax・電話で。希望講座No.、〒、住所、氏名(ふりがな)、☎、Fax、年齢、受講目的を明記。定員は各15人。
- 〒211-0064 中原区今井南町514-1生涯学習プラザ内
事業推進室 パソコンセミナー係
- 問い合わせ 事業推進室 ☎044(733)5894/Fax(733)6697

ラ・カルト

平成17年度 各種講座のお知らせ

川崎市生涯学習財団では、JR南武線・東急東横線武蔵小杉駅から徒歩12分の中原区今井南町にあります生涯学習プラザを会場に「スポーツ教室」、「陶芸教室」、「パソコンセミナー」の講座を実施しています。平成17年度は以下の講座の受講生を募集します。皆様のお申込みをお待ちしています。詳しくは事業推進室へお問い合わせください。

	教室名	日程(予定)	募集時期
スポーツ教室	エアロビクス教室 (月曜・午前)	1期4月～6月(全10回)	締め切り
		2期9月～12月(全10回)	8月上旬
		3期1月～3月(全10回)	12月上旬
	気功太極拳教室 (火曜・午前)	1期4月～7月(全12回)	締め切り
		2期9月～12月(全12回)	8月上旬
		3期1月～3月(全10回)	12月上旬
	ヨーガ教室 (火曜・午後)	1期4月～7月(全15回)	締め切り
		2期9月～12月(全15回)	8月上旬
		3期1月～3月(全10回)	12月上旬
陶芸教室	プラザ陶芸教室	水・土曜日各全12回4コースの陶芸教室を実施しています。初心の方は手びねりコース、手びねり経験者を対象に電動ロクロコースを開設。	
	①水曜・午前手びねり	1期4月～7月(全12回)	締め切り
	②水曜・午後ロクロ	2期7月～11月(全12回)	5月中旬
	③土曜・午前手びねり	3期11月～3月(全12回)	9月上旬
	④土曜・午後ロクロ	陶芸経験者を対象に陶芸室の一般開放を実施しています。3日間(①作陶②削り③釉薬・絵付け)で1回のコース。電動ロクロは経験者に限ります。先着順	
	陶芸一般開放 (陶芸経験者)	1期5月～7月	4月上旬
	木・金曜(午前・午後) 手びねり・電動ロクロ	2期9月～11月	8月上旬
パソコンセミナー	パソコン入門から中級向けの各種講座を年間を通し開設しています。1日・2日などの単発の講座です。都合、レベルにあわせて受講ください。4・5月の募集案内は左ページを参照ください。	3期1月～3月	10月上旬
		はがき・FAX・電話で随時受付	

問い合わせ 事業推進室 ☎044(733)5894/Fax(733)6697

お知らせ

4月1日より財団の名称変更に伴い、以下の通り組織も変わりました。

■これまでの「アカデミー室」と「学習推進室」を統合し「事業推進室」になりました。

■電話番号…アカデミー担当☎044(733)6626

事業(各種講座)担当☎044(733)5894

アカデミーと色彩

短歌にこめた心をつなげて

杉野 浩美 さん

片翼をもがれし鳥に飛べよとか巷にインカの笛の音澄む
歌人で短歌同人誌にエッセイを連載している杉野さんが、「かわさき市民アカデミー」の募集記事を目にしたのは、ご主人を亡くされた頃のこと。看病の傍ら、夜間講座で介護資格を取得したほど、何事にも全霊で取り組む杉野さんでしたが、「これからは自分のしたいことをして」という息子さんの言葉を機に「O2文学コース」に入会されました。演習の自由な雰囲気が楽しく、講師の和田あき子先生の伸びやかな発想には、目の覚める思いの連続なのだそうです。



杉野さんと短歌との出会いは20年前。ある歌人の一首でした。その歌には、リウマチを発病した自分の辛い心境そのものが詠われており、短歌とはこんなにも人の心をつつものなのかと感動すると共に、これなら鉛筆さえ持てればできると、すぐに市民館の成人学校にかけ込みました。やがて新聞への投稿作品が掲載されだし、全国大会で受賞、第一歌集『ブルーブラック』を出版し、歌壇デビューを果たされました。また、それまで交流を深めた仲間たちと同人誌を興され、その事務局も務めています。杉野さんの人柄を慕い、教えを乞う人たちが集まるようにもなりました。

そんなある日のこと、ハンセン病の存在を知ったのだそうです。杉野さんは、悲惨な実態や差別の歴史を学ぶために、多磨全生園に通いました。杉野さんの心を揺さぶったのは、隔離の日々を文芸に命の証を刻んでいくことで生きる力を灯しつつこられた入所者たちの姿でした。その事実を多くの人に伝えたいと、杉野さんは、ハンセン病と短歌についてのエッセイを綴りはじめたのです。現在では熊本と鹿児島療養所まで出掛け、みなさんと歌を通して交流しています。上辺の姿にとらわれることなく、コアの輝きを見つけてしまう眼差しは敬愛する亡き父親ゆずりとか。

黒マントまとえる父はうら若しふわふわとゆく桜の下
ゆくゆくは、近くの老人施設に向いて、人生の先輩たちと一緒に歌を詠んでみたいと、杉野さんの夢は短歌と共に広がっていくようです。

(かわさき市民フロンティア 照井陽子 記)

このコーナーは「かわさき市民アカデミー」の修生生による組織で地域貢献を目的とした「かわさき市民フロンティア」が担当しました。今回をもって終了します。

ぐるーぷBOX

花で街を彩り心うるおす

「鷺沼にんじんクラブ」

東急田園都市線鷺沼駅前のロータリーの花壇には、パンジー、エンゼルトランペットなど季節ごとに色とりどりの花が咲き、道行く人の目を楽しませています。この花壇を手入れしているのは「鷺沼にんじんクラブ」(中村昭子代表)のメンバー30人です。同会は、川崎市主催の「花と緑の街づくり講座」の受講者有志で平成3年に発足。「できる時にできる人が」を合言葉に、植栽や水やり、清掃をこまめに行っています。

現在、同会では鷺沼駅前周辺を含め6カ所に花を植え、随時管理しています。昨年10月には、このような環境美化活動が認められ、宮前区の「まちかど功労賞」を受賞しました。

2月中旬、鷺沼北公園周辺の「あじさいロード」と呼ばれる場所での活動に伺いました。ここは、4年前まで笹が茂り道路にはみ出し歩行の妨げになっていた所。そこに手を入れ158メートルにわたり18種553株のアジサイを植栽したのだそうです。この日は北風が吹く中、20代から60代のメンバー15人が駆けつけ作業をしていました。各人がビニール袋を手し、枯れ草や路上のゴミを黙々と集めていました。

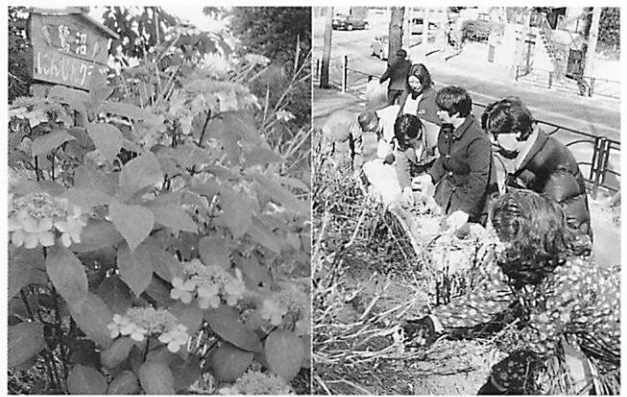
会員たちは「初めてアジサイが咲きそった年は感動しま

した」「仕事をしているので少ししか参加できないけれど、何かの役に立てばうれしい」と話していました。

その後、鷺沼第一公園の花壇に移動。ここにはヒトリシズカやサギソウなどの山野草が230種ほど植えられています。それぞれに名札がつけてあり植物図鑑のようです。手入れをしながら山野草に造けいの深い会員から教わることも多く、会話にも花が咲いていました。

代表の中村さんは「みんなの知恵と力を出し合っでこれまで活動してきました。四季折々の花が楽しめるように工夫して植えています。花を通し、地域の人とさまざまな交流が生まれています」と笑顔で語ってくれました。

◆問い合わせ ☎044(877)7314 中村さん



いま地域で学校で

認め合える人間関係を作ろう

—スチューデント インターナショナル フェスティバル—

「スチューデント インターナショナル フェスティバル」は、年に1度開催される国際交流のつどいです。小・中学生が諸外国の生活や文化に触れ、より広いものの見方ができるようになることを目的として20年前から実施しています。

企画・運営にあたっているのは、市立学校の教員で構成されている小学校国際教育研究会と中学校国際教育研究部会など。同フェスティバルでは、海外で生活した児童・生徒によ

る体験発表を中心に、民族舞踊や劇などの発表も行っています。

昨年12月、中原市民館で行われた催しに伺いました。この日は、市内の小・中学校7校の児童・生徒約80人と「アジアの踊りと文化を知る会」が出演しました。

住吉小学校の児童30人が「カエルのうた」を日本語と韓国語で歌った後、観客に韓国のジャンケン遊びを教え、勝ち残りゲームをしていました。

ニューヨークで5年間過ごした今井小学校の児童は「ジャパン アンド アメリカ」と題し、英語と日本語でスピーチ。「アメリカの学校では『パジャマデー』という日があって、その日はパジャマを着て学校へ行き、本を読んだりクッキーを食べたりして過ごします」と紹介。また「アメリカでは13歳までは一人で外出してはいけないのに、日本に帰ってきたら子どもが一人で学校に行っているのが驚いた」と表情豊かに話していました。

英語劇「オリジナルかぐや姫」は、住吉中学校の選択英語を履修している生徒たちの台本によるもの。男子生徒がかぐや姫を演じ、ユーモラスな動作で会場を沸かせていました。出演した中学生は「みんなでストーリーを考え楽しかった。演じることも面白かった」と笑顔で話していました。

運営委員長の朝倉安弘・住吉中学校長は「他国の文化や生活習慣に触れ、日本との違いを知るでしょう。それをお互いに認め合うきっかけになればいいですね」と話していました。



まち・ひと・多面体

不登校・学力不足の子どもたちに力を

NPO法人「教育活動総合サポートセンター」

いわゆる「不登校」「ひきこもり」の児童・生徒の数が全国で数十万人ともいわれている昨今、各自治体やNPO（特定非営利活動法人）団体等が、さまざまな角度でこの問題に取り組んでいます。

川崎においても昨年7月、市立の小・中・高校の元教職員有志が「これまでの教員としての経験や専門性を生かし、子どもたちや親たちの悩みを少しでも解消できるよう支援したい」とNPO法人「教育活動総合サポートセンター」（井口衛理事長、会員約50人）を発足させました。

主な活動は、「教育相談」「学習支援」「不登校児童・生徒への適応指導」などや、教育委員会からの委託事業としての小学校への教育活動サポーター配置事業です。

「学校に行けない、学業不振、いじめ」などの悩みを電話などで受け付けた後、センターとの関わりがはじまります。何らかの理由で来所が難しい場合には、経験豊かな会員が家庭を訪問して対応しています。開設から半年間に支援した件数は訪問も含め約100件、その約7割を中学生が占めています。「学習支援」は、最初は子どもたちの力量にあわせた個別学習を行います。雰囲気慣れてくると2～3人のグル



ープ学習に移行する場合もあるようです。同センターは、子どもたちに単に居場所を提供しているのではなく、学校に復帰することを目的としています。複数での学習は学校復帰のひとつのパロメーターになっているようです。

JR南武線津田山駅から徒歩数分の民間のマンション1階にある同センターは広さ約160㎡、大小学習室と相談室が2室あります。室内は大変明るく、広く感じます。「先生、高校入試合格しました」「おめでとう。よかったね」。来所した中学生と担当スタッフの会話が大変ほのぼのと感じられました。

◆賛助会員募集…個人一口5000円 団体・法人一口10000円

◆郵便振替番号…0280-0-131574

加入者名「NPO法人教育活動総合サポートセンター」

◆問い合わせ…☎044(877)0553 同サポートセンター

くらし百景

天為俳句会(川崎在住者)



オリオンは翼をつなげ兎兎
ふれあうて潜る一日の不老門
流れ藻に白き根の出る久女の忌
蛸壺に破魔矢を挿すも佃かな
神棚の下の小箆筒日脚のふ
マスクして上目使ひの子を膝に
山を拝みてのちの雑煮かな
横浜は海より昏れて聖夜の灯
齋打つ賢妻賢母ほどとほく
初詣いよ重たき力石
書き初めや硯の中の筆遊び
しんかんと光あまねし冬木立
七草もハウス育ちの寒さかな
あの時も寒い日だつたと神戸より
日脚伸ぶ郡上瓦に吊るバケツ
買初はみどりの鳥の根付かな
紋入りの製材並ぶ淑気かな
初鴉羽音大きく擦れ違ふ
舌にしむ寒九の水のまるやかに
恵方より白鷺来るや柿田川

金村真吾
川西浪児
清水安奈
高橋憲子
中尾有為子
中田朗子
宮下恵美子
八十嶋祥子
山元志津香
綾部きみ
大槻吉信
荻上寿美子
荻上天和
海部圭子
狩野陽子
貴船晶子
田尻明子
田辺米子
増澤道子
益田妙子

(同人・会員あいうえお順)

*天為俳句会は、有馬朗人主催の全国に支部のある俳句結社です。毎月近くの支部や本部での句会・吟行会で楽しみながら、より良い自分の句をめぐっています。

問い合わせ

☎044(八五二)三〇二七 川西

情報コーナー イベントパーク 講座・コンサート他

●東芝科学館実験教室①ガリレオ工房②GEMS探検隊

①は4月23日(土)10時と13時半。テーマは「不思議なふしぎなトンネル」。ハーフミラーを使って不思議なトンネルを作る。対象は小学校3年生～中学生。②は4月16日(土)「ウーブレック星の不思議」。ウーブレックとは何かを探る。10時から小学校1年生～4年生。13時半から小学校3年生～中学生。定員は①②とも各回50人。参加費は各500円。☎(549)2200の同館。

●青少年創作センター「初夏の創作教室」

①陶芸②七宝焼③パソコン

①②とも5月8日～29日の日曜全4回。①は9時半から、教材費1000円。②は13時半から、教材費2000円。対象は小・中学生。定員各30人。③は5月15日と22日の日曜2回。小学3年以下は9時半から。小学4年以上は13時半から。教材費各200円。定員各13人。☎4月8日(金)までに、往復はがきに教室名、氏名、学校名、学年、性別、☎を記し〒214-0034多摩区三田2-3303-1の同センター「初夏の創作教室」係あて。☎(911)1510。

●宅地建物取引主任者資格受験準備講座

5月24日～9月20日の火・金曜13時半から、全30回。場所は労働会館。宅地建物業法を中心に関係法令や価格の評定などを学ぶ。定員35人。受講料35000円、教材費6000円。☎4月24日(日)9時から電話で。先着順。☎(222)4416。

●玉川大学公開講座

4月開講の「屋外のスケッチを楽しむ」「能面を打つ」「フランス語講座」「玉川アドベンチャープログラム」「3人のピアノレッスン」など11講座の受講生募集。詳細は☎042(739)8895の同大学継続学習センター。

●清泉ラファエラ・アカデミア春期講座

4月11日(月)開講の▽英会話▽スペイン語▽中国語▽フ

ラメンコマ絵画▽フラワー・アレンジメント▽テニス▽楽しい運動など30講座の受講生を募集中。場所は同大学宮前平キャンパス。受講料は1期12回、24000円～32400円。☎03(3447)5551、同大生涯学習センター。

●マンズリートーク「あれから60年 川崎大空襲」

4月16日(土)14時。市民ミュージアム。マンズリー展示に関連した学芸員による解説。常設展観覧料は一般500円、大生300円、中学生以下と65歳以上は無料。☎(754)4500の同館。

●第10回「しゃらく麻生」写真作品展—光と影—

4月22日(金)～27日(水)10時から17時。多摩市民館市民ギャラリー。☎(988)8022の金子さん。

●六合会展(りくごうかいてん)

5月6日(金)～20日(金)。9時から21時。初日は12時、最終日は16時。場所は中原区の会館とどろき。油絵、水彩画など約50点。無料。☎(977)1423の平川さん。

●ミニ画廊スナック「琴」①絵②花とビーズのソナタ

①4月16日(土)まで、山崎守の作品。②4月16日(土)～30日(土)、ファレリアデザインスタジオ教室の作品。作品の展示は無料。場所は幸区鹿島田。☎(544)0507。

●ランチタイムコンサート

4月20日(水)12時15分開演、市役所第3庁舎ロビー。出演は、洗足学園音楽大学卒業生による木管五重奏団、ブルーメンシュトラウス・クインテット。曲目は未定。入場無料。☎(520)0100のミュージザ川崎シンフォニーホール。

●靴ホールコンサート～アンサンブルウィーンの夕べ

5月19日(水)19時開演、靴ホール。ウィーンフィルメンパーによる弦楽四重奏。曲目は歌劇「フィガロの結婚」「ドン・ジョバンニ」「道化師の踊り」他。4000円。☎(812)6090の同ホール。

編集室から

■平成17年4月1日から財団の名称が変わりました。

これまでは「財川崎市生涯学習振興事業団」でしたが、「財川崎市生涯学習財団」になりました。新財団に「川崎市市民ミュージアム」「岡本太郎美術館」「日本民家園」「青少年科学館」の4施設が加わります。これに伴いステージ・アップの紙面内容も若干変更し、4施設を紹介するコーナーが5月から始まります。お楽しみに。

■夏季号(7・8月合併号)は全ページ「かわさき市民アカデミー特集号」になります。

夏季号では、秋に開講するアカデミーの講座を16ページで紹介する予定です。したがって、夏季号のみ他のコーナーは全て休載となります。あらかじめご了承ください。

■「イベントパーク」欄へ掲載を希望される方へ

情報コーナー「イベントパーク」では、学習・文化活動をしている皆さんのお知らせを無料で掲載します。団体・個人が主催するイベント、講座、学習発表会、作品展、コンサート、会員募集などの情報をお寄せください。締め切りは、催しものの開催月(事前申し込みがある場合は、申し込み開始日)の2カ月前の末日です。例えば6月に開催するイベントの場合、4月末が締め切りとなります。なお、夏季号のみ「イベントパーク」を休載し、9月号から再開します。9月号に掲載希望の方は7月末日が締め切りとなります。詳細はお問い合わせください。